

N I K A

PAINTING SCULPTURE DESIGN PHOTOGRAPH

第107回 二科展

2023年10月3日(火)～9日(月祝)

開館時間/10時～18時(入場は17時30分まで) 最終日、9日(月)は16時まで

愛知県美術館ギャラリー



巡回東海展

■ 共催 二科東海支部・二科東海展運営委員会
中日新聞社・CBCテレビ

圧巻のスケール!! 594点の作品群

第107回二科展(巡回二科東海展)は、令和5年10月3日(火)～9日(月・祝)、愛知県美術館ギャラリー(愛知芸術文化センター8階)にて、開催されました。

ギャラリー10室のうち9室までを使用して4部門の地元作家作品を中心としながらも全国巡回作品をできる限り展示し、二科のスケール感や多様性が感じられるように配慮しました。

コロナ禍を越えて、3年ぶりの本格開催に来場者は5337人(7日間)の勢いで、新聞とテレビでの報道の効果も相まって、会期中入出はほとんど途切れることがありませんでした。展示については、当地区でも増え始めた心象を軽妙な筆致と明るい色彩で描いた抽象作品や、二科が得意とする重厚で深遠、さらに写実を極めた表現を特色とする大作、また瑞々しい感性で描きたいものをストレートに捉えた受賞作品など、展示室を回遊するごとに二科の魅力に引きこまれていく展示を心がけました。



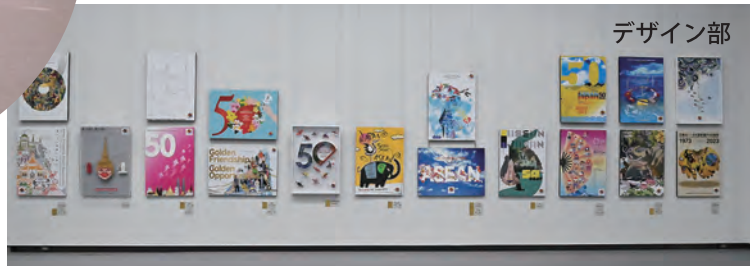
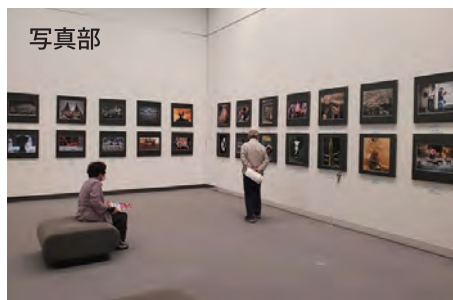
彫刻部の作品はエントランスにも展示し、ことに巨大なサイには目を奪われた来場者も多かったようです。

東京での展示風景パネル・映像紹介も好評でした。

デザイン部、写真部も当地区の受賞者や会員・会友推荐者を中心に展示し、世代を超えたニカファンで展示室は連日盛況でした。

こうして作品を一堂に展覧してみると、近年会員会友、一般出品者を含め世代交替は如実で「二科とは何か・表現とは何か」をいかに追究すべきかを伝えていく努力と工夫が必要と感じます。自由でありながら二科らしい真摯な作品を輩出するには、さらなる研鑽と邁進を続けてゆかなくてはならないと、思いを新たにしました。

東海支部長 堀尾 一郎



107回展 展示点数/絵画部:201点 彫刻部:23点 デザイン部:133点 写真部:237点

■ 鑑賞料:一般・当日1,000円 前売900円 ※小・中・高・大は無料 ※障がい者無料